

基本視点1 子どもたちの学びを応援

まとめ

No	指標 内容	平成28年度 現況値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度(平成31年度)			平成31年度 目標値	関連施 策番号	担当課 (所管課)	備考 (指標概要等)
					実績値 [R2.3.31現在]	達成状況	令和元年度実績値・達成状況に対する担当課意見				
1	地域子育て支援センターの整備	2か所	3か所	3か所	3か所	○	継続してセンターでの事業内容の充実を図る	3か所	[1]①	子ども・若者課	子ども・若者プラン(再掲) 地域子育て支援センターの整備の進捗状況がわかります。
2	家庭支援推進保育士の配置	9園	9園	11園	11園	△	対象家庭の実情に合わせて適切な支援を実施してゆく	13園	[2]②	幼児課	家庭支援推進保育士の配置の進捗状況がわかります。
3	保育所一時預かり事業の実施	19園	20園	22園	15園	▼	事業継続し、子育て環境の向上を目指す。	25園	[2]③	幼児課	子ども・若者プラン(再掲) 一時預かり事業の取組の進捗状況がわかります。
4	保育所待機児童の解消(4月1日現在の待機児童数)	51人	20人	29人	25人	△	H31の無償化に伴いニーズ量が増加する可能性がある	0人	[2]⑤	幼児課	子ども・若者プラン(再掲) 保育ニーズに対する取組の進捗状況がわかります。
5	児童生徒の基礎・基本的な学習内容の習得状況(各年度の結果)	小 74.5%	小 76.0%	小 66.5%	-	-	令和元年度から、全国学力学習状況調査の実施内容の変更に伴い、これまでの基礎・基本的な学習状況の数値が算出できなくなった。	小 80.0%	[3]①	学校教育課	子ども・若者プラン(再掲) 80.0%を目指すために、授業改善や学力補充、支援員の配置などに取り組みます。
		中 67.3%	中 70.0%	中 70.0%	-	-		中 80.0%			
6	就学援助認定基準の拡大	生活保護の基準の1.2倍	生活保護の基準の1.2倍	生活保護の基準の1.2倍	生活保護の基準の1.2倍	□	生活保護の基準については、平成25年8月の改正前の基準を使用しており、生活保護基準見直しの影響を受けないよう配慮をしている。	拡大	[3]⑥	学校教育課	就学援助認定基準の拡大に向けた取組の進捗状況がわかります。
7	スクールソーシャルワーカーの配置	1名配置	1名配置	1名配置	1名配置	□	スクールソーシャルワーカーの派遣により、子どもの取り巻く環境の改善を図ることができ、今後も継続して配置していきたい。	2名配置	[6]①	学校教育課	スクールソーシャルワーカーの配置の進捗状況がわかります。
8	地域での学習支援教室の整備	1か所	7か所	7か所 2か所	15か所 7か所	○	「地域未来塾」として全中学校で8教室開設し、地元の大学生や地域の教員OB等が学習支援員となり学習支援を行った。令和元年度から小学校でも地域未来塾事業が可能となったことから、小学校7校が本事業を活用した学習支援を行った。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の徹底を図りながら小中学生への学習支援をさらに充実させたい。「学べる場」は7か所(補助対象団体等)。(社会福祉協議会把握団体7か所)。引き続き、各小学校区に1か所ずつ、地域での子どもの居場所(子ども食堂や学べる場)ができるよう取り組んでいく。	7か所	[7]	生涯学習課 子ども・若者課	子ども・若者プラン(再掲) 学力支援教室の整備の進捗状況がわかります。中学校区に1か所の整備を目指します。
9	放課後などの学習支援員の登録者数	23人	96人	96人	125人	○	学習支援員の登録者数は多いが、学生などは出務可能な日に偏りがある。今後は広く地域から学習支援員を募るなど、開設する日すべてに学習支援員が十分に確保できるよう努める必要がある。	35人	[7]①	生涯学習課	学習支援員の確保に向けた取組状況がわかります。

基本視点2 子どもたちの育ちを応援

No	指標 内容	平成28年度 現況値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度(平成31年度)			平成31年度 目標値	関連施 策番号	担当課 (所管課)	備考 (指標概要等)
					実績値 [R2.3.31現在]	達成状況	令和元年度実績値・達成状況に対する担当課意見				
10	放課後児童クラブ受入児童数	1,214人	1,355人	1,393人	1,497人	○	全てのクラブにおいて、夏休み期間限定児童を含め、年間を通して入会を希望する児童を全員受け入れることができた。	1,372人	[10]①	生涯学習課	子ども・若者プラン(再掲) 放課後児童クラブのニーズに対する取組の実施状況がわかります。
11	子ども食堂・学べる場の整備	0か所	7か所	9か所	13か所	△	子ども食堂6箇所、学べる場7か所。今後も、各小学校区に1か所の17箇所、更に拡充して整備をしていく。	17か所	[11]②	子ども・若者課	子ども食堂・学べる場の整備状況がわかります。
12	フリースペースの整備	0か所	2か所	2か所	2か所	△	ふるさと、さざなみ苑の2箇所。 令和2年度以降の支援方法等の整理をした。	3か所	[11]③	子ども・若者課	フリースペースの整備状況がわかります。
13	若者の居場所の整備	0か所	2か所	2か所	2か所	△	「サロンなないろ」、「通信サロン」の2箇所。 3箇所目の居場所の整備に第2期計画においても継続する。	3か所	[11]④	子ども・若者課	若者の居場所の整備状況がわかります。
14	ひとり親家庭の親子が過ごせる居場所の整備	0か所	1か所	1か所	1か所	○	目標は達成しているが、「第3の居場所」を利用するなかで、参加者の学習意欲の向上を目指すと共に、保護者が日頃の悩みを気軽に相談できる場を検討していく。	1か所	[11]⑤	子育て支援課	ひとり親家庭の親子が過ごせる居場所の整備状況がわかります。
15	ショートステイ受入施設数	2か所	7か所	7か所	4か所	○	「滋賀県子どもと家族を守る家づくり事業」が平成30年度末で終了したことから、里親家庭と契約を結び、利用者のニーズに応えられる体制づくりをおこなった。	3か所	[12]	子育て支援課	子ども・若者プラン(再掲) 子育て短期支援事業の取組の進捗状況がわかります。

No	指標 内容	平成28年度 現況値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度(平成31年度)			平成31年度 目標値	関連施 策番号	担当課 (所管課)	備考 (指標概要等)
					実績値 [R2.3.31現在]	達成状況	令和元年度実績値・達成状況に対する担当課意見				
16	いきがいわくワークセンターにおける就労決定件数(H28年度開設)	—	18件	31件	25件	□	希望者のうち、本人の特性などを聞き取りマッチングしたうえで、いきがいわくワークセンターにおいて25件の就労決定に結び付けた。 求職者のニーズや特性に対応し、多岐に渡る求職者の就労決定につなげられるよう、センターへの登録企業の開拓も行っていく。	50件/年間	[14]①	社会福祉課	センターにおける就労支援の取組の進捗状況がわかります。
17	自立支援教育訓練給付・高等職業訓練促進給付金受給者数	8人(H27実績)	15人	11人	9人	○	教育訓練については、実績には上がっていないものの、来年度の受講に向けて申請された方も数名おられた。給付対象者に対しては、受講中から資格取得後の求職活動までのフォローと、就職後のアフターフォローまでを計画的に行っている。	9人	[14]②	子育て支援課	教育訓練・職業訓練の取組の進捗状況がわかります。
18	ひとり親家庭向け市営住宅の募集	1件/年間	1件/年間	1件/年間	1件/年間	○	和田東団地1戸の募集に対し5件の応募があった。	1件/年間	[17]②	建築住宅課	ひとり親家庭向け市営住宅の募集状況がわかります。

※No.11子ども食堂・学べる場の整備、No.12フリースペースの整備の現況値については、滋賀県社会福祉協議会滋賀の縁創造実践センターの補助で実施されているものもありますが、本計画の現況値としては「0か所」としています。なお、彦根市内ではこの補助を受けて、子ども食堂が5か所、フリースペースが1か所実施されています。(平成29年1月現在)

基本視点3 みんなで応援

No	指標 内容	平成28年度 現況値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度(平成31年度)			平成31年度 目標値	関連施 策番号	担当課 (所管課)	備考 (指標概要等)
					実績値 [R2.3.31現在]	達成状況	令和元年度実績値・達成状況に対する担当課意見				
19	子どもの貧困に関する相談窓口の開設	未開設	開設	開設	開設	○	ニート・ひきこもり等社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を支援するため、子ども・若者育成支援に関する相談に応じ、関係機関の紹介その他の必要な情報の提供および助言を行う「彦根市子ども・若者総合相談センター」を、NPO法人へ業務を委託し開設した。また、「子ども応援コーディネーター(子どもの貧困対策コーディネーター)」は、保育所・幼稚園等を訪問等により相談や支援を行うように取組んだ。	開設	[18]①	子ども・若者課	相談窓口の開設状況がわかります。
20	むし歯のない3歳児の割合	79.5%(H27実績)	85.6%	84.7%	88.1%	△	継続的に歯科受診されている人もいるが、お菓子やジュースなど時間を決めずに与えている人や兄弟に合わせたお菓子を与えているなどもある。歯科衛生士や保健師が口腔内の清潔、食事内容、ケアの方法などの指導を継続して、虫歯の予防や啓発していくことが重要である。	90.0%	[18]④	健康推進課	子ども・若者プラン(再掲)子どもの口腔状態は、保護者の子どもへのかかり方や食生活も影響することから、保護者の養育状況を図る指標になります。
21	関係機関による支援ネットワークの整備	未整備	整備	整備	整備	○	彦根市子ども・若者支援地域協議会に、子どもの貧困対策に関する機関等を構成機関へ追加して活動した。(平成29年度から)	整備	[19]①	子ども・若者課	支援ネットワークの整備状況がわかります。
22	乳児家庭全戸訪問の訪問割合	89.9%(H27実績)	91.3%	98.0%	92.9%	△	転出者や長期里帰り、新型コロナウイルス感染症感染拡大予防等で4か月までの全数把握はできなかったが、4か月健診や相談事業等で状況把握に努め、長期的に支援していくことが重要である。	100%	[20]①	健康推進課	子ども・若者プラン(再掲)乳児家庭全戸訪問の訪問状況がわかります。
23	地域資源を掘り起こし、育成する体制の整備	未整備	整備	整備	整備	○	貧困や生きづらさのある子どもの居場所(子ども食堂や学べる場など)づくりに関して、子どもたちを応援する地域や支援者を、人材育成から活動の運営までトータルにサポートするとともに、リユースやフードバンクの体制(仕組み)づくりを行う、子ども・若者を応援する「ひとり・地域づくり事業」を社会福祉協議会へ委託して実施した。	整備	[21]①	子ども・若者課	地域資源を掘り起こし、育成する体制の整備状況がわかります。
24	支援対策ガイドブックの作成	未整備	作成済	作成済	作成	○	・平成30年度に、彦根市社協と彦根市子ども・若者総合相談センターと協働で製作した「彦根市子ども・若者支援ガイドブック(子ども・若者の支援機関等の情報を掲載)および、「彦根市子どもたちの学びと育ち応援ガイドブック(子どもの貧困対策に関する支援情報等を掲載)の掲載情報の更新をして、市HPでの掲載と関係機関への情報提供をした。	作成	[24]	子ども・若者課	ガイドブック作成の進捗状況がわかります。
25	庁内体制の整備	未整備	プロジェクトで検討中	実務者会議へ引き継ぎ	整備	○	彦根市子どもの貧困対策計画推進の「プロジェクト・チーム」は子ども・若者支援地域協議会実務者会議等へ引き継がれた。	整備	[25]①	子ども・若者課	庁内体制の整備状況がわかります。

※現況値は、平成28年4月1日現在の数値(異なる場合は記載しています。)

※平成30年度実績値は、可能な限り年度末時点(平成31年3月末日現在)の状況とします。

※達成状況は、目標値が達成できた場合は○、目標値は達成できなかったが現況値よりも改善された指標は△、現況値から変更が無かった指標は□、現況値よりも後退した指標は▼としています。

年度	H29	H30	H31・R1
目標達成項目	12	13	13